

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援 A 型事業所ラボリ	事業所番号	1116000306
住 所	鶴ヶ島市中新田382	管理者名	山根大揮 (担当：香山 滯子)
電話番号	049-299-6522/070-6425-3881	対象年度	令和8年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 株式会社武蔵野 埼玉麵工場 実施日程 平成28年3月～ 現在継続中 実施した生産活動・施設外就労の概要 週5日(月～金)施設外就労先として番重洗浄、食材廃棄を業務として請負。 利用者数 等 5名(利用者4名と職員1名)	<活動の様子> 目的 使用済番重を洗浄・滅菌し、食品加工に再使用 ①作業手順(番重洗浄) 4名配置 1 番重の作業場に入れる 2 食品加工ラインの必要とする洗浄数の把握 3 洗浄機で番重洗浄 4 洗浄毎に汚れの有無を目視で確認 5 汚れが確認された際には再洗浄 6 終業時間前まで洗浄作業 7 終業前5分～10分で衛生管理(清掃) ②作業手順(食材廃棄) 1名配置 1 廃棄物の収集 2 分別廃棄 3 終業前に床清掃 ③作業手順(共有スペースの清掃) 3名配置 1 階段清掃のブラッシング(3か所) 2 壁面清掃 3 番重清掃及び廃棄の補助 ※支援員の動き 2名配置 1 安全面の指導 2 作業効率化について支援 3 作業補助
<目的> 地域連携活動のねらい 障害者へ、企業と連携し施設外就労における支援を行い一般就労における意欲とスキルの向上を目指します。 地域にとってのメリット 企業の人材不足解消だけでなく、障害者の就労及び雇用のイメージを相互に理解していく機会になる事 対象者にとってのメリット 障害のある方が就労を継続していく為のコミュニケーションの在り方を学ぶ機会や環境となる事。企業内での作業を行う事で、より実践的な訓練につながる事	
<成果> 実施した結果 実際の作業を行う事で必要となる技術や生活習慣を知る事に繋がっている。チームでの仕事の仕方を知り、予測して行動ができるようになってきている事。 得られた成果 習慣化していた事の見直しをする事で、障害者自身のコミュニケーションスキルや作業スキルに繋がった事。その事でラボリが関わる以外の部署との関連性も理解しだしている事 課題点 身体的かつ精神的な特性などから、トイレなど作業途中でいく際に一人で考えて行動する事など個々に課題感がある為、現在は個別の指導助言監督を行っているところです。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 ・番重洗浄に関しては生産性が高く大変助かっております。また、残渣残り等も無く、精度も問題ございません。 ・ゴミ庫の収集も特に問題ございません。食品残渣に廃プラ混入等も無く精度高く分別出来ています。 ・階段清掃に関しては工場内全域をローテーション組んで清掃いただき、見違えるように綺麗になりました。 利用者様の名前を少しずつ覚えてきたため、直接感謝の言葉を伝えようと思います。			
連携先企業名	株式会社武蔵野 埼玉麵工場	担当者名	香山